

ま ちかど インタビュー

東日本大震災から15年

振り返って思うことは？

15年という節目に際して、インフラ整備は進んでいるものの、
 まだ癒えぬ悲しみや記憶が残ります。あの大変な日々を振り
 返ると、一人一人違った経験があり、その経験を乗り越えて今
 の生活があるかと思えます。
 そこで、震災から15年振り返って思うことをお聞きしました。



大井

一男さん
 眞理子さん
 (上浅見川)

震災から15年が過ぎ、
 現在は四倉で生活して
 いますが、広野町には
 今でも姉2人がいて大
 切なふるさとです。
 家族や知人とのつな
 がりを通して60年以上
 暮らした町を身近に感
 じています。
 4月には狐石部落の
 花見があります。
 大変楽しみにしてい
 ます。
 これからも広野町の
 発展を願い、健康に気
 をつけながら夫婦2人
 で生活していきたいと
 思います。



佐川

正江さん
 伸江さん
 (上北追)

私は当日、東電1F
 3号機で仕事をしてお
 り「もうだめかな」と
 脳裏をよぎりました。
 6時間かけ家に戻り
 ました。
 翌日「爆発なので早
 く避難して」と言われ
 4か所を避難し、先の
 見えない日々でしたが
 仕事に復帰し昨年3月
 退職、妻も退職し忙し
 く動いています。
 これから以前の様に
 地域の人の和のつな
 がりを大事にしてい
 きたいです。

編集後記

春の訪れと共に新
 たな年度が始まりま
 した。日頃より広報
 委員会の活動にご理
 解とご協力を賜り、
 心より御礼申し上げ
 ます。
 3月定例会では、
 特別委員会の調査を
 経て、議員提案によ
 り条例2件を制定す
 るなど、これまで以
 上に主体的な議会運
 営が進んでおります。
 今後その歩みに
 歩調を合わせ、より
 分かりやすく伝わる
 広報となるよう、広
 報委員会全員で編集
 に努めてまいります。
 引き続き広報編集
 へのご意見をお寄せ
 いただきますように
 今後ともご理解とご
 協力を賜りますよう
 よろしくお願い申し
 上げます。
 (西内 玄太)



春を告げるサクラ

次の定例会は6月です

- 発行・編集責任者
 議長 渡邊正俊
 広報委員会
 委員長 西内玄太
 副委員長 西本久雄
 委員 遠藤 浩
 委員 北郷伯弘
 委員 高木光雄